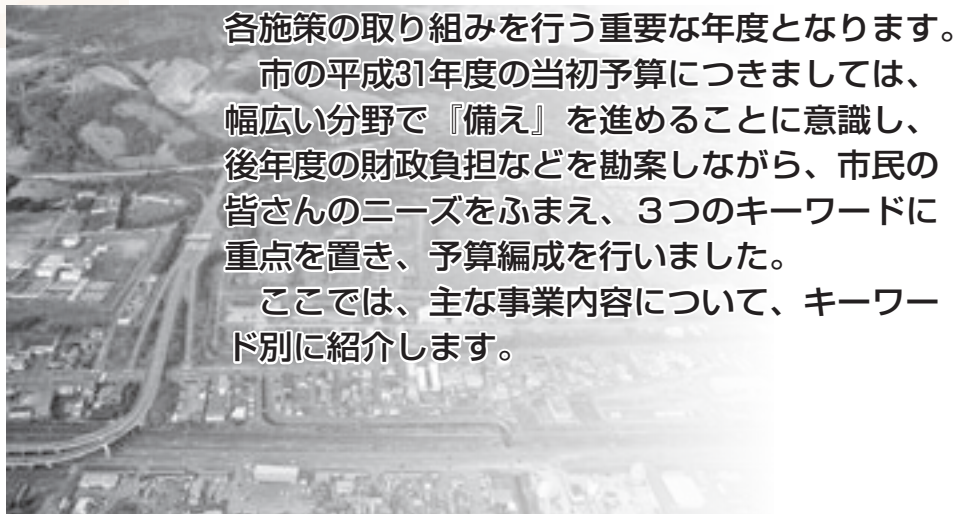


平成31年度は、『登別市総合計画第3期基本計画』の『第2次実施計画』の初年度として、各施策の取り組みを行う重要な年度となります。

市の平成31年度の当初予算につきましては、幅広い分野で『備え』を進めることに意識し、後年度の財政負担などを勘案しながら、市民の皆さんのニーズをふまえ、3つのキーワードに重点を置き、予算編成を行いました。

ここでは、主な事業内容について、キーワード別に紹介します。



市役所本庁舎の建て替えに向けた基本計画の策定

事業費 1,863万円

新規事業

市役所本庁舎の建て替えについては、多くの市民やさまざまな団体などからご意見を伺いながら、2018年9月に『登別市本庁舎建設基本構想』を策定しました。

基本構想の内容をふまえ、新庁舎の役割や機能、規模、構造などについて定めるため、『登別市本庁舎建設基本計画』を策定します。



▲老朽化が進む市役所の本庁舎

公共施設・教育施設の長寿命化計画の策定

事業費 1,619万円

新規事業

市が保有する公共施設や教育施設の多くは、建築してから30年以上が経過しており、老朽化が進んでいます。

修繕や建て替えなどによる財政負担の軽減や平準化を図るとともに、施設の適正な配置を行うため、それぞれの施設の現況を把握して、施設ごとの『個別施設計画』を策定します。



若草つどいセンター



市民会館

▲老朽化が進む市内の公共施設と教育施設を対象に行う『個別施設計画』

重点施策の3つのキーワード

災害への備え

暮らしの安全を守り、安心を実感できるまちづくり

未来の福祉への備え

年齢や性別を超え、誰もが健やかに暮らし、未来が輝くまちづくり

経済活性・外貨獲得への備え

ふるさとの資源を活用した、活力と賑わいあふれる魅力あるまちづくり